

日本初の無投薬養豚で 真の安心・安全を追求



基準が入り乱れ、未だ明確な基準はないのが実情である。

そんな中、(有)江原養豚では、真の安心・安全とは何かを徹底的に追求した結果、日本初の無投薬飼育に取り組んだ。

同社は、社長の江原正治さんと妻の美津子さんが二人三脚で、年間三千頭の豚を出荷している養豚場。正治社長は、大学時代に教師をめざしていたが、父・平治氏の営んでいた養豚業という商売に魅力を感じ、



「昨今、食の安全・安心が叫ばれるようになって久しいが、各業界や業種、また生産地などによつてさまざま

無投薬養豚に挑む

正治社長が無投薬養豚に挑んだのは平成十二年。同社の実績を認められたある飼料会社から完全無投薬の話が持ちかけられた。おりしも、業界では農場規模の拡大によって生産性を高める手法が主流となっていた。

「どうすれば、夫婦経営を維持しながら、メガファームに対抗できるのか」。正治社長は生き残り策を模索していた。

跡を継いだ。当初から「地域で認められる養豚経営をしたい」との思いで、都市型近郊畜産の課題である堆肥処理、浄化施設等の建設に取り組み、業界に先駆けて、子豚を細かく仕切られた部屋で育てるコンパクトメント型豚舎を建設。平成九年、こうした先駆的な取り組みが認められ、日本農業賞の大賞である農林大臣賞を受賞した。

天地礼賛



作業をする正治社長

有限会社 江原養豚

代表取締役社長 江原正治 (52歳)
 設立/昭和50年
 本社/〒370-0027
 群馬県高崎市上海町649-1
 TEL/027-352-7661
 FAX/027-353-1470
 事業内容/養豚業
<http://www.ebarayohnton.co.jp>